



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月15日

上場会社名 株式会社 スーパーツール

上場取引所 東

コード番号 5990 URL <http://www.supertool.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 量夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部兼総務部部长 (氏名) 田中 穰

TEL 072-236-5521

四半期報告書提出予定日 2020年10月29日

配当支払開始予定日

2020年11月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年3月16日～2020年9月15日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,703	24.2	276	53.4	242	54.7	160	54.9
2020年3月期第2四半期	4,886	37.1	594	24.3	534	24.2	356	19.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 248百万円 (17.4%) 2020年3月期第2四半期 300百万円 (15.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	78.80	
2020年3月期第2四半期	174.39	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	13,245	9,127	68.9
2020年3月期	12,266	9,002	73.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 9,127百万円 2020年3月期 9,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		45.00		45.00	90.00
2021年3月期		30.00			
2021年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年3月16日～2021年3月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	19.7	510	44.9	430	48.2	290	47.7	141.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	2,084,304 株	2020年3月期	2,084,304 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	50,574 株	2020年3月期	35,299 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	2,043,119 株	2020年3月期2Q	2,044,782 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益は大幅な減少が続き、雇用情勢や設備投資も弱含みで推移いたしました。一方で、緊急事態宣言の解除後、個人消費や生産に持ち直しの動きがみられるなど、景気は厳しい状況にあるものの、一部に改善の兆しも見られました。また、世界経済につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響によって減速傾向が続いており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止対策として濃厚接触回避などの取り組みを継続し、事業活動を行ってまいりました。金属製品事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業活動が制限されるなか、マーケティングオートメーションを活用した効率的な営業活動に取り組むとともに、顧客ニーズに合致した販売企画などに取り組んでまいりました。また、開発型企業として、全く新しいコンセプトの新製品や、既存製品から派生した製品など、あらゆる産業に対応する製品開発に注力しながら、生産効率向上を目指した適性な人員配置なども行い、収益の安定化に取り組んでまいりました。

一方、環境関連事業につきましては、依然として厳しい事業環境となっておりますが、設備投資案件の受注を軸に、事業環境の変化に対応すべく、商材の拡充にも注力し、売上確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,703百万円（前年同四半期比1,183百万円減、24.2%減）、営業利益は276百万円（前年同四半期比317百万円減、53.4%減）、経常利益は242百万円（前年同四半期比292百万円減、54.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は160百万円（前年同四半期比195百万円減、54.9%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

(金属製品事業)

国内販売において、作業工具の分野では、豊富なラインナップのレンチ類や配管工具類、産業機器の分野では、作業性と安全性を兼ね備えた吊クランプ類、コンパクトで機動性に優れたクレーン類など、多彩な製品群と新製品を軸に商品提案や、効果的な販売企画などを行い、売上確保に努めてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、国内経済では、厳しい状況が続き、幅広い産業で使用される当社製品において販売が伸び悩みました。

海外市場につきましても、新型コロナウイルス感染症の影響により、営業活動が制限される中、当社の主要市場である韓国において、販売子会社が現地法人の強みを活かした営業施策を展開いたしました。また、その他の地域においても安全性と日本製であることをアピールポイントとし、新たなプロモーション施策などにも取り組み、売上確保に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、販売が伸び悩みました。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,229百万円（前年同四半期比506百万円減、18.5%減）、セグメント利益は411百万円（前年同四半期比147百万円減、26.4%減）となりました。

(環境関連事業)

継続する厳しい事業環境に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、設備投資も弱含みで推移するなか、設置コストや運用面でメリットが多い水上設置型メガソーラーなどの大口の設備投資案件やセカンダリー案件の受注獲得に注力してまいりました。また、太陽光関連部材のラインナップ拡充など、建設から販売まで幅広く展開し、売上確保に努め、より筋肉質な事業体制を構築すべく、取り組んでまいりました。また、売電部門では、大阪府南河内郡河南町及び柏原市に設置しています3カ所の発電所が順調に稼働しており、収益の安定化に寄与しています。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,473百万円（前年同四半期比676百万円減、31.5%減）、セグメント利益は72百万円（前年同四半期比164百万円減、69.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比8.0%増の13,245百万円（前連結会計年度は、12,266百万円）となり前連結会計年度末に比べ979百万円増加しました。

この主な要因は、流動資産では、前渡金の増加951百万円、現金及び預金の増加140百万円、商品及び製品の減少484百万円等であり、固定資産では、土地の増加411百万円等であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比26.2%増の4,118百万円（前連結会計年度は、3,263百万円）となり前連結会計年度末に比べ854百万円増加しました。

この主な要因は、流動負債では、短期借入金の増加650百万円、前受金の減少61百万円等であり、固定負債では、長期借入金の増加299百万円等であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比1.4%増の9,127百万円（前連結会計年度は9,002百万円）となり前連結会計年度末に比べ124百万円増加しました。

この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加160百万円、配当金の支払いによる減少92百万円、その他有価証券評価差額金の増加64百万円等であります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ140百万円増加し1,618百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動においては、税金等調整前四半期純利益241百万円、たな卸資産の減少497百万円等により資金の増加がりましたが、前渡金の増加951百万円等により、217百万円資金が減少（前年同期比164百万円の資金減少）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動においては、有形固定資産の取得による支出428百万円等により458百万円資金が減少（前年同期比434百万円の資金減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動においては、短期借入金の純増加額650百万円、長期借入れによる収入400百万円、配当金の支払額92百万円、長期借入金の返済による支出90百万円、自己株式の取得による支出50百万円により816百万円資金が増加（前年同期比1,271百万円の資金増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年7月15日付「2021年3月期第1四半期決算短信[日本基準]（連結）」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月15日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,488,487	1,628,740
受取手形及び売掛金	830,760	801,048
商品及び製品	2,142,792	1,658,731
仕掛品	873,592	853,547
原材料及び貯蔵品	282,737	289,553
前渡金	257,764	1,208,878
未収入金	526,084	524,585
その他	49,027	25,972
流動資産合計	6,451,247	6,991,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	460,331	442,701
機械装置及び運搬具(純額)	872,260	816,881
土地	4,088,246	4,499,357
その他(純額)	49,586	45,919
有形固定資産合計	5,470,425	5,804,859
無形固定資産	12,044	41,002
投資その他の資産		
投資有価証券	239,589	335,662
繰延税金資産	59,167	38,591
その他	34,216	34,570
投資その他の資産合計	332,973	408,824
固定資産合計	5,815,443	6,254,687
資産合計	12,266,690	13,245,746

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月15日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月15日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	483,262	459,927
短期借入金	—	650,000
1年内返済予定の長期借入金	130,700	140,084
未払金	757,043	844,241
未払法人税等	180,799	114,445
前受金	70,235	9,092
賞与引当金	64,340	56,924
その他	69,819	37,359
流動負債合計	1,756,200	2,312,074
固定負債		
長期借入金	292,500	592,360
再評価に係る繰延税金負債	1,022,632	1,022,632
退職給付に係る負債	192,421	190,595
その他	230	672
固定負債合計	1,507,785	1,806,260
負債合計	3,263,985	4,118,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,902,597	1,902,597
資本剰余金	839,176	837,206
利益剰余金	3,985,782	4,054,565
自己株式	△84,677	△114,050
株主資本合計	6,642,879	6,680,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,453	139,386
繰延ヘッジ損益	△30,417	△8,336
土地再評価差額金	2,317,100	2,317,100
為替換算調整勘定	△1,310	△1,057
その他の包括利益累計額合計	2,359,826	2,447,092
純資産合計	9,002,705	9,127,411
負債純資産合計	12,266,690	13,245,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月16日 至 2019年9月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月16日 至 2020年9月15日)
売上高	4,886,351	3,703,320
売上原価	3,588,841	2,757,683
売上総利益	1,297,509	945,636
販売費及び一般管理費	703,192	668,959
営業利益	594,316	276,676
営業外収益		
受取利息	84	23
受取配当金	5,334	3,798
受取補償金	—	909
助成金収入	—	6,390
その他	1,402	2,086
営業外収益合計	6,822	13,207
営業外費用		
支払利息	3,218	3,557
売上割引	52,821	43,294
その他	10,302	568
営業外費用合計	66,343	47,421
経常利益	534,796	242,463
特別利益		
固定資産売却益	42	—
特別利益合計	42	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	1,244
特別損失合計	0	1,244
税金等調整前四半期純利益	534,838	241,218
法人税、住民税及び事業税	195,601	99,818
法人税等調整額	△17,358	△19,587
法人税等合計	178,242	80,230
四半期純利益	356,596	160,988
親会社株主に帰属する四半期純利益	356,596	160,988

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月16日 至 2019年9月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月16日 至 2020年9月15日)
四半期純利益	356,596	160,988
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44,980	64,932
繰延ヘッジ損益	△10,324	22,080
為替換算調整勘定	△773	253
その他の包括利益合計	△56,079	87,266
四半期包括利益	300,517	248,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	300,517	248,254
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月16日 至 2019年9月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月16日 至 2020年9月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	534,838	241,218
減価償却費	79,938	85,881
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,880	△7,416
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	15,388	△1,826
受取利息及び受取配当金	△5,419	△3,821
支払利息	3,218	3,557
為替差損益 (△は益)	2,120	208
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△42	1,244
売上債権の増減額 (△は増加)	△45,311	29,694
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△396,851	497,288
仕入債務の増減額 (△は減少)	75,089	△23,334
前受金の増減額 (△は減少)	△614,848	△61,143
前渡金の増減額 (△は増加)	589,640	△951,114
未収入金の増減額 (△は増加)	△586,549	1,499
未払金の増減額 (△は減少)	491,069	85,708
その他	36,684	59,899
小計	173,085	△42,453
利息及び配当金の受取額	5,419	3,822
利息の支払額	△3,226	△3,654
法人税等の支払額	△228,670	△181,856
助成金の受取額	—	6,390
営業活動によるキャッシュ・フロー	△53,391	△217,752
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,590	△428,635
投資有価証券の取得による支出	△3,028	△2,482
無形固定資産の取得による支出	—	△28,335
その他	296	491
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,323	△458,961
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△250,000	650,000
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△92,082	△90,756
自己株式の取得による支出	—	△50,123
配当金の支払額	△112,285	△92,278
財務活動によるキャッシュ・フロー	△454,367	816,842
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,931	124
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△535,013	140,253
現金及び現金同等物の期首残高	2,454,892	1,478,416
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,919,878	1,618,669

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月24日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役等（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く）に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。この処分により自己株式は20,750千円（8,650株）減少いたしました。また、2020年4月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により自己株式は50,074千円（23,900株）増加いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において、自己株式は114,050千円となりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年3月16日 至 2019年9月15日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属製品事業	環境関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,736,550	2,149,800	4,886,351	—	4,886,351
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,736,550	2,149,800	4,886,351	—	4,886,351
セグメント利益	559,020	237,535	796,556	△202,239	594,316

(注) 1 セグメント利益の調整額△202,239千円には、セグメント間取引消去1,794千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△204,034千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年3月16日 至 2020年9月15日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属製品事業	環境関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,229,935	1,473,385	3,703,320	—	3,703,320
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,229,935	1,473,385	3,703,320	—	3,703,320
セグメント利益	411,382	72,708	484,091	△207,414	276,676

(注) 1 セグメント利益の調整額△207,414千円には、セグメント間取引消去1,808千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△209,223千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。